

〔編集発行〕
千葉県赤十字血液センター
〒274-0053 船橋市豊富町690
Tel 047-457-0711

CONTENTS No.61

2 お便り特集 NO.61



3 ◆レポート NO.61 「血液事業に役立てて欲しい」

○献血運搬車・テントが寄贈されました



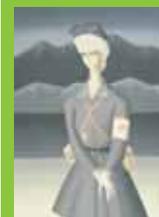
4 ◆新着ニュース

○英国滞在歴に関する献血制限が緩和されました

○平成22年度千葉県の献血目標が決まりました

5 ◆献血協力企業・団体紹介 ◆献血ルームキャンペーン・イベントプラン NO.61

6 ●お知らせ
○好評発売中の赤十字商品！
コスチュームキュービー登場！
○～あなたに届けたい、人道への想い～
日本赤十字社所蔵美術展を開催します



○漢字クロスワードパズル

春の献血にご協力をお願いします。

社会貢献活動 献血への思いを語る唐川選手（「はたちの献血」イベントから）

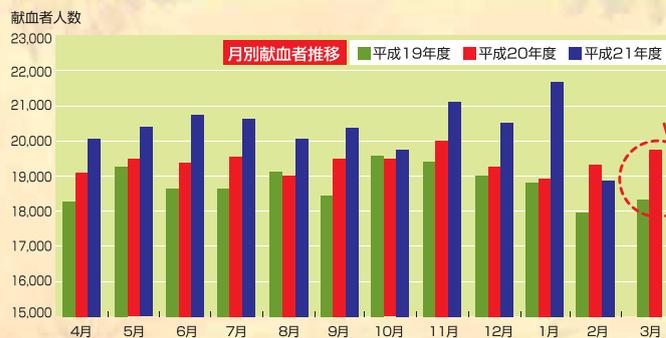
全ての生き物に生命の輝きが訪れる春。

新しい出来事の始まりが期待できる春も、急な気候変動や花粉症などで体調を崩しがちになり、少し献血が心配になる季節です。この冬、皆さまのご協力によって厳しい献血環境を乗り切ることができました。

血液センターでは、新春早々、千葉ロッテマリーンズとのパートナーシップのもと、「はたちの献血」キャンペーンを行うなど、若い皆さまに献血へのご協力を呼びかけてまいりました。

「はたち」の唐川侑己選手が登場したイベントで幕開けた平成22年。

血液センターでは、安全な輸血用血液を安心してお届けできますよう努めてまいります。



右肩上がりの献血を目指します。



千葉県は血液不足が深刻です。献血にご協力ください。



献血キャラクター けんけつちゃん



お便りとメッセージのコーナー



「うれしくなります」

ドナー通信を読むと、献血する側と輸血される側両方の気持ちが良く伝わってきて、涙が出そうな時があります。

私は平和(凡)な人生を送ってきて、献血するだけで輸血されたことはないけれど、ドナー通信を読むことで、様々な人生があり、たまにお手伝いができているかも考えるとうれしいです。

(千葉市 K・Aさん)

「いつか私も」

私はまだ14才なので献血はできません。でも最近献血者が減少していると聞くので、私も16才になったら献血に協力しようと思います。いろいろなキャンペーンイベントなどもやっているの、お母さんやお姉ちゃんで行こうと思います。

(四街道市 M・Sさん)



DONOR 2010.3 No.61

「他の人の役に立てたら」

7年前、次男が病気をもって生まれてきた為、手術時には、輸血を行いました。

若い頃から献血は何度が行っていましたが、子供の命を救っていた時、出来るだけ自分も献血に行って、他の人の役に立てたらいいなと思いました。

これからも時間がある時は献血に伺いたいです。

(香取市 T・Oさん)

「何より心配なのは・・・」

ドナー通信を読むと献血中に聞いた話と同じことが書かれていて、何とかならないものか・・・と考えてしまいました。

それでも年々献血者は増加しているのはうれしいことだと思います。

何より心配なのは若い方の参加が少ないことでしょうか。

「人を思いやる」ということには、一歩大きく踏み出す勇氣が必要だと思えます。

席をゆずる時、注意する時などは、「よーし」と思わないとできないことがあります。そんな大きなことではないかもしれませんが、でも無理、やだ、めんどくさいなどの言葉で逃げないで欲しいと思います。

できれば自分の子どもには、献血に協力できる「健康と気持ち」をつけられればと考えているところです。

私自身も継続して協力できるよう日々の生活を大事にしていきたいと思っています。

(四街道市 K・Sさん)

特集

60号記事「生あるは献血のおかげ」(秋山さん寄稿手記)に関するたくさんのお手紙をお寄せいただきました。この紙面では、特集としてメッセージをご紹介します。

●とても凄まじい内容でした。幾つもの死線を乗り越えてこられた生命の強さに敬服いたします。そして自身の健康の有り難さを感じました。ありがとうございます。(南房総市 K・Sさん)

●秋山さんの手記を読んで、命の大切さと献血によって救われる命がある事を痛感しました。これからもできる限り献血に御協力したいと思います。(我孫子市 Y・Yさん)

●「献血感謝のつどい」で秋山氏の講演を拝聴しました。私も胃痛などで2回の輸血を経験しており、秋山氏の話には自己の体験からも大変感動しました。(市川市 T・Tさん)

●「献血感謝のつどい」の際の体験発表を読ませていただきました。まさか自分が・・・と思うような大病を患い、献血がなければ生還も出来なかった・・・と感じました。(千葉市 T・Yさん)

●初めてドナー通信を読みました。手記「生あるは献血のおかげ」を読んで、改めて献血をするということは、「色々な人の役に立っているのだなあ。」と知ることができました。これからも出来るかぎり献血を続けていこうと思います。(船橋市 Y・Tさん)

●とても感動してウルっときてしまいました。献血の大切さをもっと多くの人たち、特に若い人たちに知ってもらいたいと心から思います。(船橋市 C・Sさん)

●秋山様の手記を拝見しました。大変な人生であると同時に、献血がこのような形でいかにされていることがとても良くわかりました。若い方の協力が減っているとのこと、献血者を増やすために何かできることがあれば良いのです。(千葉市 M・Iさん)

●普段接する機会のない輸血を受けた方の声も載っており、献血を継続していく動機付けにもなっています。(千葉市 T・Tさん)

●手記「生あるは献血のおかげ」読ませていただきました。病気はいつなるかわからないものですね。何人にしてあげられない私ですが、せめて献血だけはと思いました。

私もこの間百回目の献血をしてとてあえずの目標はクリアしました。もっと若いうちから献血していればと思う日々です。本格的に献血し始めたのは、三十半ばでしたので。過日は「百一回目のプロポーズ」ならぬ「百一回目の献血」を達成し、新たなスタートとしました。

「献血できる幸せ」と「健康であることの幸せ」。この手記を読んで新たに強く思うのです。(印西市 M・Kさん)

●「ドナー通信」初めて知りました。献血ルームのお姉さんが袋に入れてくれなかったら知らないままでした。「寄稿手記」が良かったです。実際にどのように血液が使われているのかわかったので、今後も献血しようと思いました。(松戸市 K・Uさん)

●寄稿手記を読んで改めて献血の大切を感じました。(船橋市 F・Kさん)

●寄稿手記「生あるは献血のおかげ」、感動をもって拝読しました。(君津市 Y・Kさん)

「生きとし生きるもの」

秋山さんからメッセージをお預かりいたしました。この紙面にてご紹介させていただきます。

このたび、ドナー通信のお便りを拝見させていただき、あらためて感謝の気持ちに打ち震えております。献血をしてくださり、そしてドナー通信にメッセージを寄せてくださった皆様方、大量輸血を受けた私と息子は皆様方の尊い献血のおかげでこの世に生をいただいております。お便り特集に綴られた文字の向こう側にいらっしゃる皆様方のお顔を思い浮かべながら、何度も何度もメッセージを読ませていただきました。「生きとし生きるもの」として、万感胸に迫る思いでございます。ここにあらためて皆様方に感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。



心のこもったお便りとメッセージをありがとうございます。

- このコーナーでは、献血にまつわる想い出、感想、ご意見や実際に輸血を受けられた方々、そのご家族、輸血医療に携わる医療関係者の方々からのお便りをお待ちしています。
- お便りは、次号以降のドナー通信紙面や当センターのホームページなどで、市町村名とイニシャルを使い紹介させていただきます。
- 「お便りコーナー」でご紹介させていただいた方には、記念品を進呈いたします。
- あて先▶ 〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 ドナー通信係

「血液事業に役立てて欲しい」



2台目 献血運搬車が寄贈されました。

「大動脈瘤解離手術等の高度な手術を行う際には、多くの輸血用血液を使用します。血液のありがたさは身をもって感じています。」

平成22年2月16日(火)、三角 和雄(みすみ かずお)病院長(医療法人社団木下会千葉西総合病院 松戸市)から当血液センターに献血運搬車が寄贈されました。

「血液事業のお役に立てれば」との思いから今回で2台目の献血運搬車を寄贈された三角病院長は、翌年度も献血運搬車を寄贈する計画などのお話をされました。

千葉西総合病院は、心臓の冠動脈にカテーテルを入れて治療するPTCA(経皮的冠動脈インターベンション)の手術件数では、日本で1、2位の件数を誇り、大動脈疾患専門病院としての責任を果たすべく日々困難な治療に取り組まれています。

今回寄贈いただいた献血運搬車は、千葉県北西部地域の医療機関に輸血用血液を搬送するために活躍します。



(三角 和雄病院長プロフィール)

東京医科歯科大学ご出身の三角病院長は、昭和60年に渡米。イリノイ大学シカゴ校にて心臓血管病理を研究後、ニューヨーク医科大学、カリフォルニア大学、ピッツバーグ大学にて内科レジデント研修、循環器臨床フェロー研修を終了。UCLAグッド・サマリタン病院にて2年半の心血管カテーテル治療専門フェロー研修を終了した経歴をお持ちです。

医学に関わるテレビ番組にも多数ご出演、スーパードクターとして広くご活躍されています。

三角病院長からモデルキーを受ける崎山所長(千葉西総合病院での寄贈式)

緊急の血液搬送に出勤する運搬車

発足60周年の節目にテントが寄贈されました。



千葉県神道青年会(千葉一幸会長 会員約70人)から、同会が発足してから60周年を迎えた平成21年12月、記念事業として血液センターにテントを寄贈していただきました。

昭和24年に発足した千葉県神道青年会は、約3,300人の若手神職で構成される神道青年全国協議会の一員として、神社界における事業の参加や神職としての作法・基本理念の学習活動をはじめ、日本赤十字社の支援活動として街頭献血協力、植樹を行う自然緑化運動、子どもたちを招いての神社体験学習など、幅広い社会奉仕活動に取り組んでいます。



献血呼びかけ活動

今回寄贈いただきましたテントは、組み立てが簡単な上、風雨や強い日差しを遮(さえぎ)るなど、街頭などの献血会場で活躍しています。



千葉県神道青年会代表の皆さま

新着
ニュース

長い間お待たせいたしました。

1月27日以降、英国滞在歴に関する献血制限が緩和されました。



一口メモ

変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)

全身の不随意運動や抑うつ、不安などの精神症状を伴い、発症から数年で死亡する神経難病です。原因は、感染性を有する異常プリオン蛋白の蓄積と考えられており、感染経路として牛海綿状脳症の牛の肉の経口摂取や、vCJD患者血液の輸血等が考えられています。

◆英国滞在歴に関する継続制限

以下に該当する方は、これまでどおり献血にご協力いただくことができません。

- (1) 英国に1980年(昭和55年)から1996年(平成8年)までに1か月(31日)以上の滞在歴のある方。
- (2) 英国に1997年(平成9年)から2004年(平成16年)までに通算6か月以上の滞在歴のある方。

◆お問い合わせ先

千葉県赤十字血液センター 献血部献血推進一課

Tel 047-457-0713 (直通)

平日 午前10時～午後5時まで



へんいかに
変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の輸血感染予防のため、1980年から1996年の間の英国滞在歴が1日(1泊)以上の方には、国の安全策にご理解をいただき、献血をご遠慮いただいていたいました。

この度、国の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会において、輸血用血液製剤の安全性について検討された結果、1980年から1996年の間の英国滞在歴が通算で30日以内の方は、その他の献血基準を満たすことができ、1月27日以降、献血をお受けすることができるようになりました。

詳しくは、日本赤十字社のホームページでご確認いただくか、千葉県赤十字血液センター までお問い合わせください。または、お近く献血ルームでのお問い合わせも可能です。

長い間、国の安全策にご理解をいただき、献血へのご協力をお待たせいたしました皆様には心から感謝申し上げますとともに、引き続き献血へのご協力をお願いいたします。

平成22年度の千葉県の献血目標が決まりました。

献血目標は、県内医療機関への輸血用血液製剤の供給予測数757,200単位(単位:200mL献血1本を1単位として換算)及び国から県に割り当てられている血漿分画製剤用の原料血漿確保目標量43,824リットルを基本として、去る1月29日、県内の有識者が出席して開催された千葉県献血推進協議会において、平成22年度の献血目標人数を237,000人と決めました。

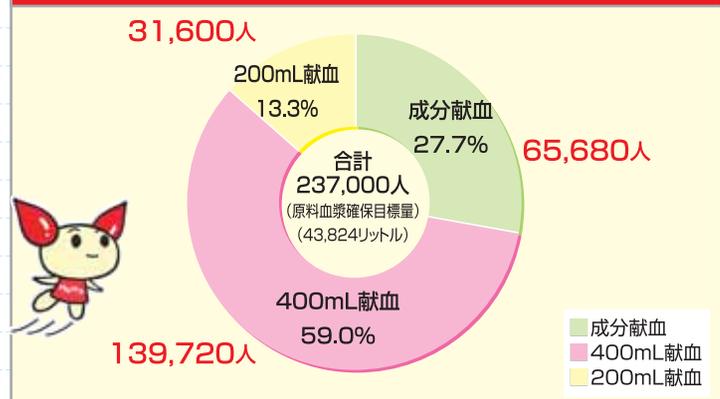
献血の種別では、成分献血65,680人、400mL献血139,720人、200mL献血31,600人といたしました。

献血受入別では、県内6ヵ所の献血ルームにて128,680人、献血バス等で108,320人の献血受入れを計画しています。

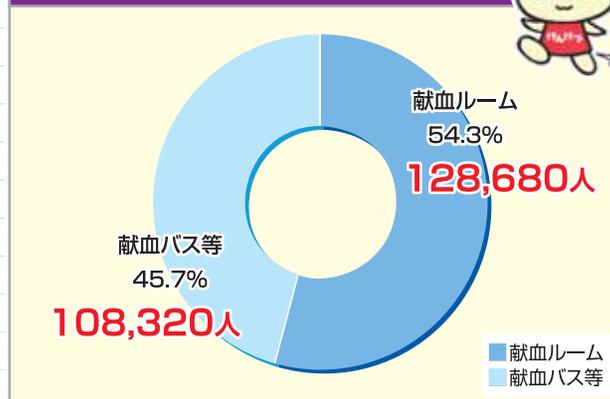
血液センターでは、県内で必要な血液を安定的に確保するため、県・市町村とともに「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」のもと、今後、より安全で治療効果の高い400mL献血・成分献血の推進に努めます。

また、少子高齢化社会を迎え、特に若い皆さまへの献血理解促進を図り、輸血用血液が年間を通じて不足することのないよう、広く県民の皆さまに献血へのご協力をお願いしてまいります。

平成22年度 千葉県の献血目標



受入別献血目標





横芝敬愛高等学校は昭和37年当時の千葉県敬愛高等学校(現在の敬愛大学八日市場高等学校)の男子部として発足し、昭和46年に現在の横芝光町の地に移転し、昭和50年に現在の校名に変更しています。平成13年度から男女共学に移行し、現在に至っている全日制普通科の高校で、特別進学コース、普通コース、スポーツコースの3コースに分かれています。

平成21年度の生徒数は全校で433名、1年3クラス、2年4クラス、3年4クラスの小規模校ですが、建学の精神である、「敬天愛人」の考え方を目標に教育を進めています。

建学の精神を、「心身共に健康な人間」「努力をする人間」「思いやりのある人間」とより具体的目標にし、調和のとれた人間教育を教育方針にしています。中でも、「思いやりのある人間」教育は建学の精神である「敬天愛人」精神の中心をなす目標であり、現代の青少年に欠けている気持ちとして、学校行事等を含め思いやり精神の涵養に努力しています。また、「心身共に健康な人間」教育にしても、自分だけが健康であればよいのではなく、自分を含めた全体的な健康の増進こそが、「敬天愛人」の精神に合致するところなのです。

そのため、奉仕やボランティア活動に力を入れていますが、中でも献血活動には1年生の大部分が採血可能年齢の16歳となる2月に実施して、多くの生徒が希望により献血できるようにしています。今年は新型インフルエンザの流行とも重なり、献血希望者は全体の1/4の111名でしたが、実際に採血できた生徒は68名にとどまりました。

奉仕やボランティア活動に参加したいと思う高校生は多くいます。しかし、以前ほどではありませんが、高校生が個人的に活動に参加するには機会がなかったり、消極的になりがちです。本校ではその機会と活動の場を提供し、それをきっかけとしてより広い活動へと移行してもらいたいと考えています。そのような意味で献血活動や、青少年赤十字の活動を本校の教育活動の一環として利用させていただいているわけです。小さな活動の種が、大きく花を結ぶことを期待しています。



献血ルームキャンペーンイベントプラン No.61



九星カードであなたの春を占います

津田沼献血ルーム
モノレールちば駅献血ルーム
合同プラン



皆さまをお待ちしています

鈴木亜夢琉さんによる
九星カード占いのサービスを
ロングランでご提供いたします。
気学九星術を高次元に
進化させた九星カード占術で、
貴方の春を占ってみませんか。

●津田沼献血ルーム
3月・4月の毎木曜日 10:30~13:30

詳しくは▶津田沼献血ルーム Tel 047-493-0322

●モノレールちば駅献血ルーム
3月・4月の毎火曜日 10:30~13:30

詳しくは▶モノレールちば駅献血ルーム Tel 043-224-0332

学生+1キャンペーン

4月一杯、春にふさわしい学生さん対象の
キャンペーンを行っています。平日・休日にかかわらず、
二人以上で献血にご協力いただいた学生の皆さんにちょっと
うれしいプレゼント。受付の際、学生証をご提示ください。

●献血ルームフェイス
平成22年2月1日(月)~4月末日

詳しくは▶献血ルーム フェイス Tel 047-460-0521



お知らせ

好評発売中の赤十字商品！

コスチュームキューピー

登場！

ご当地キューピーでおなじみの「コスチュームキューピー®」に赤十字限定タイプが新登場！

赤十字救護服、赤十字奉仕団エプロン姿、赤十字ナースコスチューム、献血車乗車タイプの4タイプ、ここでしか手に入らない、数量限定商品です！この機会をお見逃しなく！

なお、数量限定商品につき在庫が無くなり次第、販売を終了する場合があります。詳しくは販売元にご確認ください。



販売価格 **800円** (税込)

※送料はご負担いただきます。

ご購入を希望される方は、直接株式会社サービスまでお申込みください。

ご照会・ご注文は <http://www.nisseki-service.com/>

株式会社サービス
Tel.03-3437-7514
Fax.03-3459-1432

または

日赤サービス

検索



～あなたに届けたい、人道への想い～ 日本赤十字社所蔵美術展を開催します

日本赤十字社千葉県支部では、このたび、赤十字思想誕生150周年を記念して、日本赤十字社が所蔵する美術品などを一般公開する美術展を開催いたします。

公開される美術品は、赤十字活動に共感していただいた高名な美術家から寄贈されたものです。

美術展は、赤十字の創始者スイス人アンリー・デュナン誕生の月である5月を会期として、千葉県立美術館で開催される予定です。

期間中、米岡写真家による写真展「OUR WORLD AT WAR～「戦い」を生き抜く人々～」も併設され、世界でいまだ繰り返られる武力紛争と人々の生活を追った貴重な写真10点も公開予定です。



東郷 寛児氏「ナース像」

会 期：平成22年5月1日(土)～30日(日)

※休館日 6日(木)10日(月)17日(月)24日(月)

会 場：千葉県立美術館 (千葉市中央区中央港1-10-1)

ピカソ氏、東山魁夷氏、東郷寛児氏作品をはじめとする和洋の絵画のほか、陶芸、金工、ガラス作品60点を公開します。

詳しくは 日本赤十字社千葉県支部企画広報係
Tel 043-241-7531 (代表)

漢字クロスワードパズル

答え

1		2		3		4
			5			
6	7			8	9	ン
	10	イ	11			
12			13		ウ	14
15		16			17	
18	キ			19		

前号の答えは、「斜滑降」でした
たくさんのご応募ありがとうございました

このクロスワードパズルは、どこか3カ所だけ漢字が入ります。その場所は文字数やタテ・ヨコの関係から推理して下さい。その他のマスはすべてカタカナです。最後にその漢字三文字を並べて、その答えのこぼれを作ってください。

□タテのカギ

- ①アメリカの外交官で、お吉とのロマンスが有名です。
- ②常日ごろの——が物を言う抜き打ち検査。
- ③四国の一つで、夏の阿波踊りが楽しみな——県。
- ④音楽で、高さの違う二つ以上の音を同時に鳴らした響き。
- ⑦疑いが生ずるとありもしない鬼の姿まで見えてくること、という意味の四字熟語です。
- ⑨春は百花——で、たくさんの花が咲き乱れます。
- ⑩約束の日。——指定期預金。
- ⑫パッパの祖国です。
- ⑭——を食っていると、なかなか目的地に到着しません。
- ⑯——を投げるとは、見込みがないとあきらめること。

□ヨコのカギ

- ①童謡「春よこい」の歌詞で、みいちゃんが履いていたのは赤い——のじょじょでした。
- ③江戸幕府を開いた——家康。
- ⑤——を回して熱唱する演歌歌手。
- ⑥言わば、土筆の親です。
- ⑧サーフィンやヨットなどの——スポーツを楽しみます。
- ⑩積極的に事に向かう気性。
- ⑫——をトントンとノックします。
- ⑬嘉納治五郎が完成させた競技で、一本や技ありなどの判定があります。
- ⑮三大発明とは、火薬と羅針盤と活版——の技術です。
- ⑰苦の種だそうです。
- ⑱東京都中央区の地名で、日本の水産業界の代名詞です。
- ⑲——反応で、同じような事件が続きます。

ヒント お持ちください。

「答え」と「住所・氏名」、「ドナー通信への感想」などをハガキにご記入の上、係あてに郵送して下さい。抽選で20名様に素敵な記念品をプレゼントいたします。当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

●締 切 ▶ 平成 22 年 5 月 31 日(月) 当日消印有効

●応募先 ▶ 〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 漢字クロスワードパズル係宛



献血バス

血液センターでは、献血バスで県内各地を移動し、皆さまに献血をお願いしています。献血バスの予定は、当センターホームページをご覧ください。

●ホームページアドレス

<http://www.chiba.bc.jrc.or.jp>

※実施会場・時間などについては、変更になる場合がございますので、ご了承ください。



(モバイル版QRコード)

◆献血にご協力いただける事業所・団体・グループを募集しています。献血にご協力いただける方を30～40名以上集めていただければ、ご依頼の場所へ献血バスでお伺いします。

◆お問い合わせ先
千葉県赤十字血液センター
Tel 047-457-0711 (代表)



★ドナー通信へのご意見や、献血・血液に関する質問をお待ちしています。

お問い合わせ先

〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター ドナー通信係あて
Tel 047-457-0711 (代表)